

# 今、外国語で目指したい授業

## 1 言語活動の充実

### ○ 小学校外国語活動との接続を！

「5年生の2学期あたりに、こんな表現使わなかったかな？」

生徒のモチベーションをくすぐる魔法の一言。生徒は、多くの英語表現を耳にしています。その実態を十分把握した上で、より積極的に、計画的にCE(Classroom English)を使っていきましょう。

### ○ 学ぶ意欲を引き出す言語活動の場面設定を！

A 「<There is /are～>をつかって英文を作つてみよう。」

B 「理想の自分だけの部屋とは、どんなものですか？その魅力的な自分だけの部屋を、<There is /are～>をつかって説明してみよう。」

A、Bともに、同じ英作文活動での指示ですが、積極的な活動が見られたのは・・・。ちょっとした工夫で生徒のやる気が違います。

## 2 Input活動(知識定着)とOutput活動(表現活動)の充実

### ○ 「文法説明は生徒が混乱するから・・・、なるだけ触れないようにしています。」

そんな悩みを聞く機会があります。生徒は、それぞれの発達段階で日本語等との比較を通して、理論的な解釈や理解を求めはじめるものです。Input活動では、「なぜそうなるのかな？」と思わせることがカギ。生徒の言語習熟度の把握や思考過程に沿った発問や場面設定の工夫等を積極的に図っていきましょう。

### ○ 【活動あって、定着なし】からの脱却を！

「では、これらのカードを並べ替えて、グループ毎に英文を作つてください。その後、グループ毎に発表しましょう。」

よく見られる活動場面ですが、でもよく見ると・・・カードを並べ替えているのは、ごく一部の生徒だったりしませんか？Output活動では、生徒一人一人がじっくり取り組めるような学習形態や授業展開等に十分留意していきましょう。

## 3 生徒の主体的な学びの環境作りの充実

### ○ ICTの活用を！

視聴覚教室が、さながらダンスホールのように、英語えいごEIGOにあふれている授業を見ました。

視覚、聴覚、・・・五感を刺激しながらの学習は楽しいものですね。

### ○ 辞書活用指導の推進！

「英語の授業で辞書を忘れるなんて、お弁当のお箸を忘れるようなもの」

昔、英語の先生に言われたのを覚えています。分からぬところを自分で調べる、語学学習には必要な姿勢だと思います。

